



7 研修第9号

(令和 7 年 9 月)

発行: 宇治市乳幼児教育・保育支援センター

アドレス: nyuyojicenter@city.uji.kyoto.jp



令和 7 年度 乳幼児教育・保育協働研修通信



テーマ
「絵本」

令和 7 年 8 月 19 日(火)

第 10 回研修会(教育・保育の質向上分野)を開催しました。

16 名の先生方と一緒に学び合いました。
(保育所(園)4 名・幼稚園 2 名・認定こども園 9 名・療育施設 1 名)

※ この研修通信は、園内の体制等でご参加いただけなかった皆さまにも研修会での学びの一端が伝わることを願って、研修会終了後の参加者による『振り返りシート』をもとにまとめたものです。

1. グループワーク I

「絵本のへや、どこが気になる？ 何をどう変えたらいい？ 一緒に考えよう！」

季節の絵本や先生のおススメ絵本のコーナーを作ったらどう？

子どもの作品の近くに、関連する本を置くのはどうだろうか？

表紙が見えた方が、選びやすく、ワクワク感があるかな？

「絵本の病院」や「手作り絵本」があるって面白いですね。

絵本の専用の部屋があるっていいですね。

小さい家のようなこもれるスペースがあってもいいのでは？



2. 解説・アドバイスⅠ・Ⅱ

講師 西村 恵里香 先生

- ・ 宇治市東宇治図書館 主任
- ・ 図書館司書
- ・ 絵本専門士（絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家）



解説・アドバイスの中で、心に残ったこと
(参加できなかった仲間に知らせたいこと)

絵本の
表紙が
見える展示



- 子どもは絵を見て絵本を選ぶ。棚に入っている状態だと絵本を引っぱり出して初めて表紙を見ることになる。
- 文字を読めない子のために絵本の表紙が見えるように設置すること。また、表紙が絵本の顔になること。

面展台



(参考:面展作作成記事)

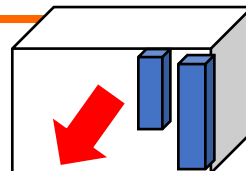
<http://ehonarekore.blog65.fc2.com/blog-entry-1015.html>

- 面展台などを利用したら展示の仕方が広がる。
- 表紙を見せての収納を増やしたい。ダンボールで作るアイデアを知らせたい。
- ※ 面展台を作ってみたい方は、乳幼児教育・保育支援センターにご連絡ください。

ワクワク



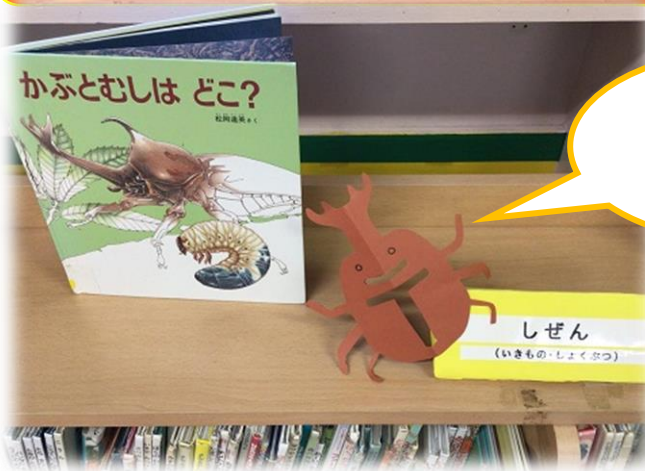
- 牛乳パックを絵本の後ろの空間に入れて、絵本を前に出す。



- 絵本コーナーは、ワクワクすることが大切。きちんと整理されていなくてもそれが逆に安心感に繋がることもある。
- ワクワクする。→その気持ちが主体性につながる。
- 秘密基地的な空間があると子どもの探求心や好奇心が湧きたったり落ち着いた状態で過ごせたりする。

3.グループワークⅡ

「解説・アドバイスを活かして、絵本のへやを変えてみよう!」



絵本への興味
ワクワクのしかけ

一緒に作業する
ことでアイデアが
どんどん出てくる

子どもたちが作った
ものも飾ってみよう!
関連した絵本を並べ
ておくといいね。



牛乳パックを
つるして絵本を
入れてみよう!

気になって触りたく
なる子どものため
に、クリアファイルを
貼ってみよう!

棚と棚の間…段ボ
ール箱や牛乳パック
で棚を手作り!



「面出し」でのディスプレイ、やってみたいです!

表紙(絵本の顔)がパツと見えて心を落ち着けて読める空間を作りたい。

取りにくい後ろの絵本の後ろに牛乳パックを入れて前に出すことはできそうだなと思った。

外からも絵本の部屋とわかるように窓から絵本が見えるようにするなどの工夫

子どもが自ら手を伸ばして絵本を選ぶような環境づくりを考えていきたい。

園でもただ本を置くだけではなく、季節の本を意識して置く工夫も必要だなと感じた。

毎月展示替えをしてワクワクできるような場にしたい。

園で
活かしたいこと



絵本が置いてあるだけではなく、「その場に行こう」・「絵本が見たい」と思えるレイアウト。

子どもの作品と共に飾る
絵本コーナー

“先生のおすすめ絵本コーナー”は子どもたちも楽しいし、周りの先生も参考になるので良いなと思った。

刺激が多いと落ち着かない子もいるので数は考えながら、子どもたちがより絵本に親しみを持てるように環境を作っていく。

面展台を作って、活用すること(絵本への興味が広がりそう)

